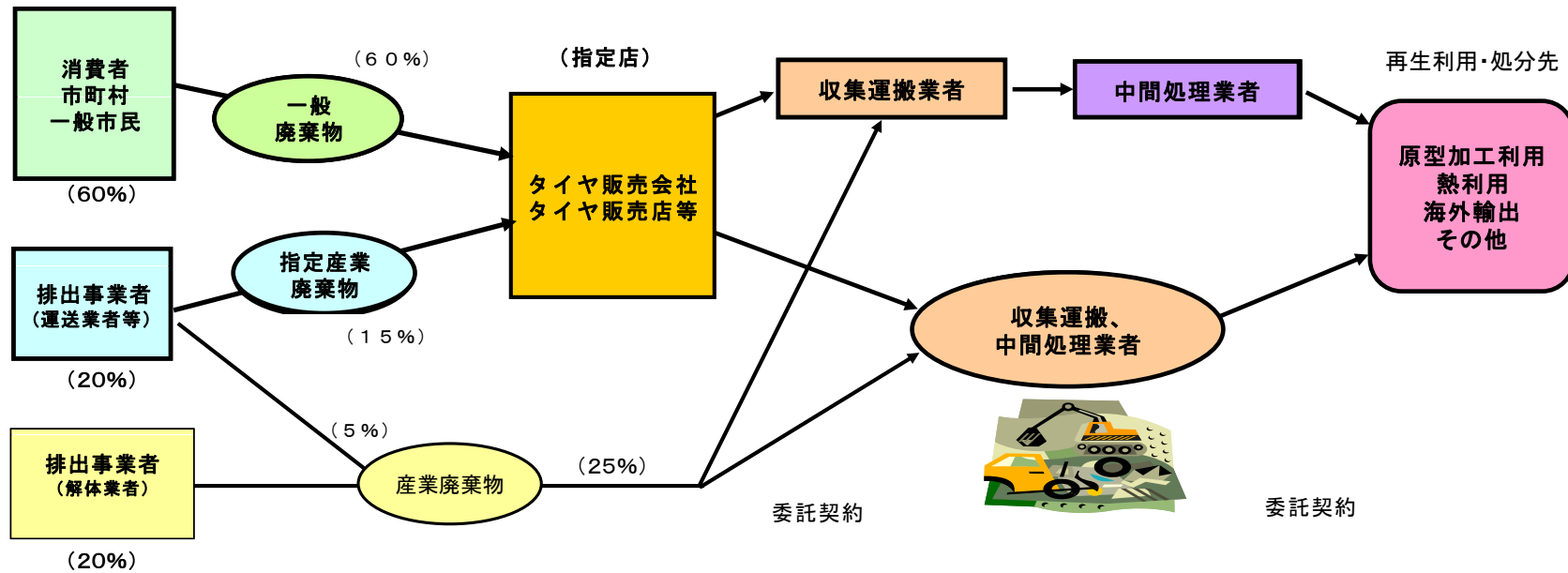
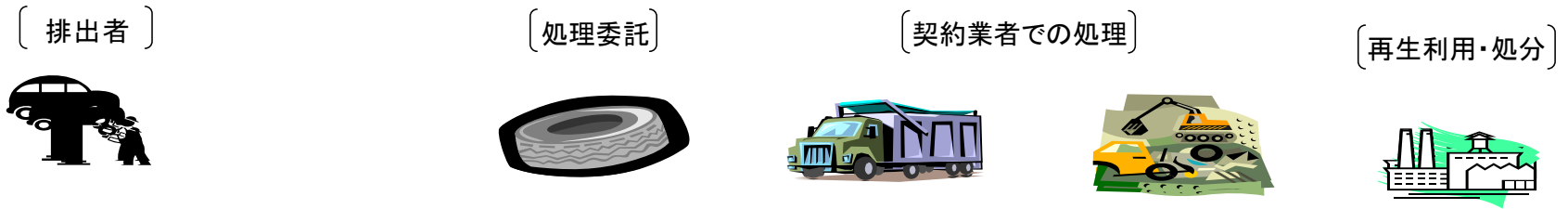


# タイヤ業界におけるリサイクルへの取組み

社団法人日本自動車タイヤ協会

# 1. 廃タイヤの発生から処理・リサイクルのフロー



## 2. 廃タイヤのリサイクル状況

### 1) 廃タイヤのルート別発生量

本数＝百万本、重量＝千ト

		2005年		2006年		2007年		前年比
タイヤ取替え時	本数	84	84%	84	82%	81	82%	96%
	重量	871	85%	875	83%	901	85%	103%
廃車時	本数	16	16%	19	18%	18	18%	95%
	重量	151	15%	181	17%	163	15%	90%
合計	本数	100	100%	103	100%	99	100%	96%
	重量	1022	100%	1056	100%	1064	100%	101%

### 2) 廃タイヤリサイクル状況

単位：千ト

				2005年		2006年		2007年		前年比	
				重量	構成比	重量	構成比	重量	構成比		
リサイクル利用	国内	原形加工利用	更生タイヤ台用	35	3%	36	3%	37	3%	103%	
			再生ゴム・ゴム粉	103	10%	107	10%	111	10%	104%	
			その他	22	2%	20	2%	17	2%	85%	
			<b>小計(A)</b>	<b>160</b>	<b>15%</b>	<b>163</b>	<b>15%</b>	<b>165</b>	<b>16%</b>	<b>101%</b>	
		熱利用	バイオマス発電等	製紙	210	21%	274	26%	328	31%	120%
				化学工場等	9	1%	9	1%	12	1%	133%
				<b>小計(B)</b>	<b>219</b>	<b>22%</b>	<b>283</b>	<b>27%</b>	<b>340</b>	<b>32%</b>	<b>120%</b>
			セメント、製鉄等	セメント焼成用	181	18%	168	16%	148	14%	88%
				製鉄	51	5%	49	4%	40	4%	82%
				ガス化炉	27	3%	34	3%	42	4%	124%
	タイヤメーカー工場	24	2%	22	2%	18	2%	82%			
	中・小ボイラー	12	1%	11	1%	11	1%	100%			
	金属精錬	10	1%	8	1%	8	1%	100%			
	<b>小計(C)</b>	<b>305</b>	<b>30%</b>	<b>292</b>	<b>27%</b>	<b>267</b>	<b>25%</b>	<b>91%</b>			
	<b>小計(B+C)</b>	<b>524</b>	<b>52%</b>	<b>575</b>	<b>54%</b>	<b>607</b>	<b>57%</b>	<b>106%</b>			
海外	<b>輸出(D)</b>			<b>213</b>	<b>21%</b>	<b>196</b>	<b>19%</b>	<b>180</b>	<b>17%</b>	<b>92%</b>	
<b>リサイクル利用合計(A+B+C+D)</b>				<b>897</b>	<b>88%</b>	<b>934</b>	<b>88%</b>	<b>952</b>	<b>89%</b>	<b>102%</b>	
その他	埋め立て			32	3%	11	1%	11	1%	100%	
	流通在庫			93	9%	111	11%	101	9%	91%	
	<b>小計(E)</b>			<b>125</b>	<b>12%</b>	<b>122</b>	<b>12%</b>	<b>112</b>	<b>11%</b>	<b>92%</b>	
<b>合計(総発生量:A+B+C+D+E)</b>				<b>1022</b>	<b>100%</b>	<b>1056</b>	<b>100%</b>	<b>1064</b>	<b>100%</b>	<b>101%</b>	

※ 構成比は、小数点以下の処理の都合により、各項目の計と小計が一致しない場合があります。

### 3. 廃タイヤの不法集積・不法投棄状況

(2008年2月末調査結果)

	2007年2月調査		2008年2月調査				
	本数 (千本)	重量 (トン)	本数 (千本)	重量 (トン)	内訳		参考 過剰集積 (千本)
					不法集積 (千本)	不法投棄 (千本)	
北海道	235	2,350	462	4,620	275	187	950
東北	1,580	15,800	701	7,010	498	203	1,271
関東・ 甲信越	2,473	24,730	2,105	21,050	1,916	189	260
首都圏	637	6,370	441	4,410	380	61	26
中部	762	7,620	990	9,900	810	180	31
近畿	477	4,770	483	4,830	383	100	0
中国	276	2,760	611	6,110	566	45	41
四国	52	520	52	520	32	20	0
九州	937	9,370	757	7,570	607	150	50
合計	7,429	74,290	6,602	66,020	5,467	1,135	2,629

備考 1件1,000本以上の物件で、不法の可能性あるものもすべて含む。

重量は原単位は、1本10kgとして計算。

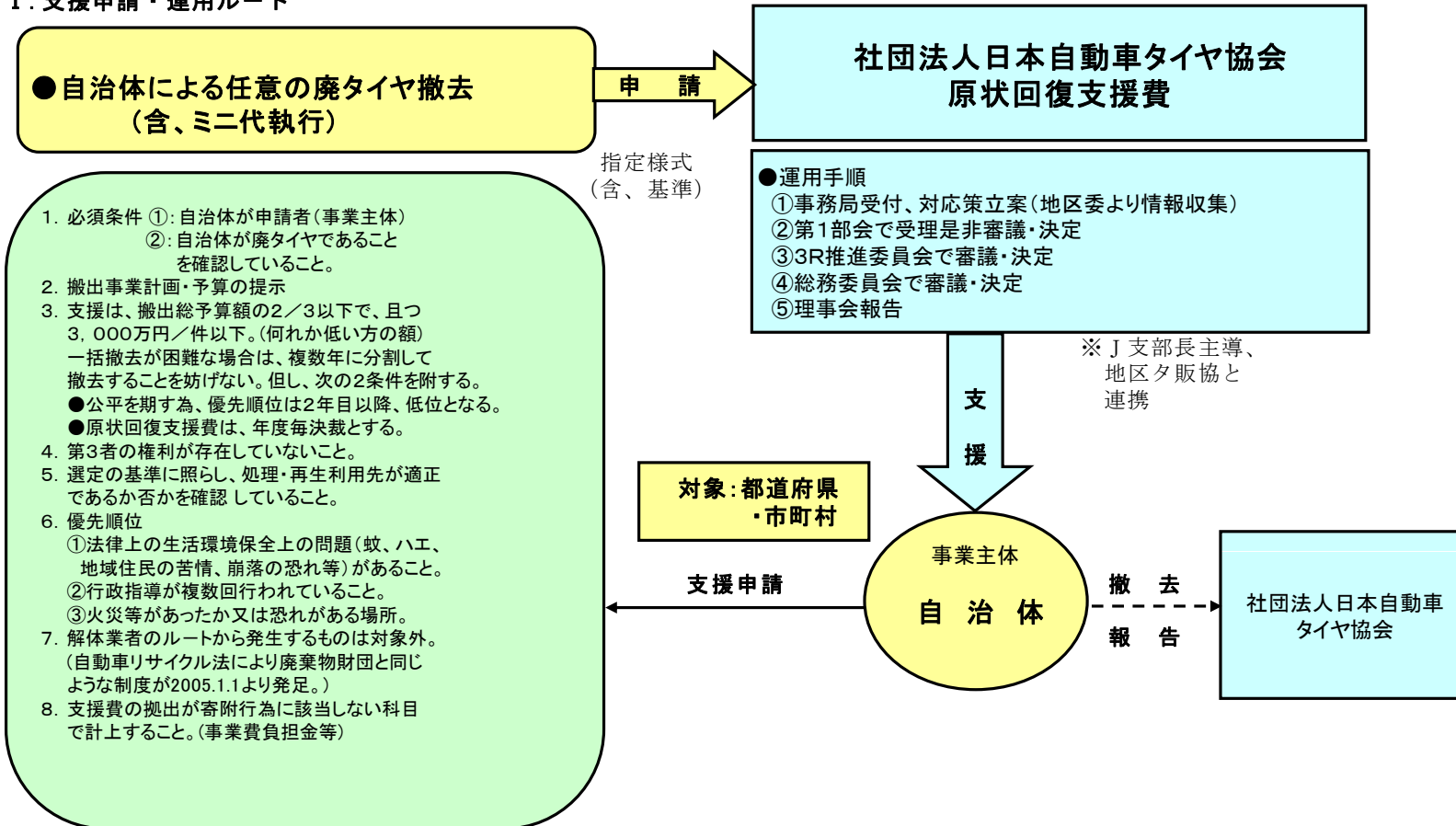
不法集積：業者が倒産、逮捕、行方不明等のもの

不法投棄：投棄した行為者が不明のもの

過剰集積：保管基準以上に集積しているが、報告徴収等をうけていないもの

## 4. 原状回復支援費運用のスキームについて

### I. 支援申請・運用ルート



### II. 国による原状回復制度との関連

- 社団法人日本自動車タイヤ協会原状回復支援費の限度を超える撤去予算額の案件については、廃棄物財団の方に申請頂くこととする。
- 処理・再生利用に係る技術的な助言は行う。

## 5. 原状回復支援実績

No.	自治体名	申請者	撤去作業期間		撤去量		撤去費用（千円）	
			開始	終了	本数（本）	重量（トン）	支援額	総額
1	兵庫県 安富町	ひょうご環境創造協会	2005年 2月	2005年 3月	22,100	221	7,245	10,868
2	兵庫県 加古川市	ひょうご環境創造協会	2005年 3月	2005年 5月	37,400	374	6,490	9,740
3	兵庫県 神戸市	神戸市	2005年 5月	2005年 11月	462,900	4,629	20,000	162,000
4	岐阜県 養老町	養老町	2005年 10月	2005年 12月	72,400	683	19,719	29,579
5	栃木県 佐野市	赤見地区廃タイヤ撤去委員会	2006年 1月	2006年 2月	76,000	760	13,637	20,456
○ 5 年度小計					670,800	6,667	67,091	
6	栃木県 佐野市 （第2期）	赤見地区廃タイヤ撤去委員会	2006年 11月	2006年 12月	225,400	2,254	30,000	49,800
7	兵庫県 神戸市	神戸市廃タイヤ撤去処理実行委員会	2006年 10月	2006年 12月	46,649	382	7,198	10,800
○ 6 年度小計					272,049	2,636	37,198	
8	鳥取県 鳥取市	鳥取市	2007年 5月	2007年 10月	307,700	3,077	30,000	45,020
9	長崎県 大村市	長崎県	2007年 7月	2007年 12月	235,700	2,357	21,086	31,630
10	長野県 中野市	牛出地区廃タイヤ撤去委員会	2007年 10月	2008年 3月	327,400	3,274	30,000	45,000
11	埼玉県 行田市	埼玉県/行田市/県産廃協会	2007年 11月	2007年 3月	100,000	1,000	11,550	19,339
12	栃木県 宇都宮市	さるやま町廃タイヤ撤去委員会	2007年 12月	2008年 2月	35,000	354	5,329	7,993
○ 7 年度小計					1,005,800	10,062	97,965	
合 計					1,948,649	19,365	202,254	